

入学、進級おめでとうございます。

校長 鳥居 タ子

今年度は86名の新入生、そして3名の転入生を迎え総勢257名での令和8年度がスタートしました。入学式では新入生の初々しい姿と2、3年生の凛とした引き締まった表情が対比され、心に強く印象付けられるとともに、一年間の重みを改めて感じる時間となりました。令和8年度、生徒一人ひとりが自分の目標に向かい、挑戦する一年間にできるよう、「学校」が生徒にとって、安心・安全な場所であることはもちろん、仲間や先生方との時間を楽しめる場にしていきたいと思います。校長室はいつでもオープンです。何かご心配なことやお困りごとなどございましたら、いつでもご連絡ください。一年間、よろしくお願いします。

《令和8年度入学式 式辞（抜粋）》

《前略》

皆さんは、「うさぎと亀」の物語を知っていますか。知っている人は中学校の入学式なのにどうして「うさぎと亀」の話なのだろうと不思議に思つかもしれませんが、これからする話を考えながら聞いてください。中学生になった皆さんなら、きっと理解できると思います。

《中略》

さあ、この話から私が皆さんに伝えたいことはどんなことか想像してみてください。

「そんなの簡単、コツコツ努力することの大切さでしょう」と皆さんの答えが聞こえてきそうですが、今日は中学校の入学式です。中学生になった皆さんとは、この物語を別の視点から考えてみたいと思います。

そもそも、うさぎと亀が競争するという状況を皆さんはどう考えますか。その競争は公平・公正と言えるでしょうか。

もし、あなたがうさぎのように俊敏だったら、亀に勝負を挑みますか？その勝負に勝って達成感を得られるでしょうか。

亀の立場だったらどうでしょう？その勝負、楽しめますか。

新入生の皆さんに伝えたいのは、ここからです。これからの中学校生活、自分自信を知る三年間にしてもらいたいというお話です。そして、同時に自分の周囲の人たちをよく観察し、自分とは違う他者についての理解を深めてもらいたいと思います。

中学生では、身体も心も変化します。何か

特別なことをしなくても変化するものです。

その過程で起きるのが、自分と仲間を比べることによって生じる悩みです。自分でも気付かないうちに誰かと競争してしまい、「勝った」「負けた」と思い悩んでしまいます。自分には自分の良さがあり、他者にもその人の良さがあります。苦手なことも同様です。それを比べて悩むことは無意味です。

《中略》

中学生になったばかりの皆さんには自分でも気付いていない個性が隠れています。自分で自分を知るための挑戦や失敗を恐れないうでください。挑戦とは、自分との戦いです。誰かとの競争ではありません。そして、三年後、中学校を卒業する時には胸を張って堂々と自分自身の個性を語れる人になってください。

改めまして、保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。

《中略》

自分のことを自分でやることの喜びは「自由」を感じることです。その反面、失敗したら誰のせいにもできません。自分の責任です。保護者の皆様にはお子様の「自分のことを自分でやる」「自分で決める」ことをできるだけ尊重してあげてください。そして、失敗を責めず、挑戦できたことを認めてあげてください。皆様の信じて認める姿勢がお子様の成長を何より後押しするものとなります。

《後略》